

枚方市の農業の現状と課題



枚方市キャラクターひこぼしくん

【枚方市の作物の変遷】

過

去

野菜・果樹・花卉・小麦・綿・牛肉・鶏卵
などの農畜産物を生産

現

在

稲作が中心・少量多品種の野菜の生産が主
現状は特産といえる作物はない



【枚方市の農業の推移】

●耕地面積の推移

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
田	478	443	436	412
畑・樹園地等	49	54	54	61
計	527	497	490	473

●農業従事者数の推移

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農業従事者数	1,157	841	745	未発表
65歳以上割合	54.5%	63.5%	66.0%	未発表

資料：農林業センサス

【枚方市の農業の現状①】

- 年々減少していく農地、農家
- 農業就業人口の超高齢化
- 利便性の良い市街地には小規模な農地が点在
- 東部地域は農業振興地域であるが、高齢化のため、農地の維持が困難

【農業振興地域とは】

- ・ 農業振興地域とは、農業を推進することが必要と定められた地域であり、農地以外での土地利用が認められません。

- ・ 東部地域の「穂谷」地区は、北河内地域唯一の農業振興地域として指定されています。



【枚方市の農業の現状②】

- 長時間の作業、少ない休み
- 少ない収入



農業が選ばれない仕事に



【枚方市の農業の現状③】

新規就農をしたくても…

①初期投資が必要

(農機具・ビニールハウス・車両など)

②技術継承がされにくい



新規参入のハードルが高い…

【誰でも参画できる農業に①】

・ 農業を魅力ある仕事に

- ◇作業の効率化によるコストパフォーマンスの向上
- ◇新規参入のハードルが低い（コストや技術面）

・ 安定的な収入が得られるように

- ◇高収益な作物の栽培
- ◇生産性の向上
- ◇付加価値（枚方ブランド）



【誰でも参画できる農業に②】

・ 農の産業化

- ◇ 6次産業化（新たな商品開発）
- ◇ 新たな販路拡大（インターネット・アプリ）

・ 新たな担い手の発掘

- ◇ 障がい者や高齢者など（農福連携）
- ◇ 農業分野と様々な分野との連携
- ◇ グループ営農の組織化（持続可能な経営）



【（参考）新規就農者が改善したい点】

《生産について》

- ◇栽培技術の向上
- ◇離れた圃場の管理（気温や水の状況など）
- ◇盗難被害対策（農機具や生産物）
- ◇獣害対策

《流通について》

- ◇出荷管理
- ◇配送の効率化
（点在している店舗へのお荷に時間がかかる）
- ◇通信販売（発送手続きの負担）
- ◇集客について（いちご狩り）

【 枚方市でご協力できること 】

- ◆市の農業に関する情報を提供します。
- ◆農家に可能な限り、協力を依頼します。
- ◆随時、ご相談・ご質問をお受けします。